

令和4年1月24日

学生 各位

学務部学生支援課

当面の課外活動について（通知）

本学の行動指針が「2 制限（小）」を維持しつつ一部制限を強化されました。課外活動についても、引き続き「活動の自粛を求めるとともに、体育館等の課外活動施設の一部を閉鎖する」とともに一部制限を強化いたします。

については、今後の団体活動について検討いただき、この通知以前に許可を得て活動を行っている場合であっても、制限を強化された活動を行う場合は、「緊急事態措置区域及び重点措置区域における課外活動について」及び「当面の課外活動についての留意事項」を厳守のうえ、関係団体・連盟等のガイドラインを踏まえた活動計画を策定して下記担当係へ提出してください。

なお、活動にあたっては、各団体で策定した感染防止対策を徹底するとともに、課外活動外の有志の活動においても、会食やカラオケ、個人宅の集まりによるマスクなしの会話等で感染拡大した事案が多数発生していることから、感染リスクの高い行動は避け、マスク着用等の感染防止対策を徹底願います。

おって、本通知に伴い、令和4年1月19日付け「当面の課外活動について」の通知は廃止します。

記

1. 活動の自粛・課外活動施設の一部閉鎖期間
令和4年1月19日（水）～令和4年2月20日（日）
2. 利用を制限する課外活動施設

学内施設 （伊都）	多目的グラウンド（イスト・センター）、総合体育館、テニスコート、課外活動施設Ⅰ、課外活動施設Ⅱ、洋弓場、野球場、体育器具庫、小体育館、松濤錬成場、亭亭舎、総合グラウンド、課外活動倉庫、弓道場、馬場・厩舎、自動車部車庫
学外施設	名島艇庫、今津艇庫、西戸崎艇庫

※感染防止対策を策定し、利用を許可された場合を除く。

※伊都地区以外の課外活動施設は、各地区の指示に従ってください。

3. 必要性・感染状況を踏まえ慎重に判断・計画すべき課外活動
 - (1) 合宿
 - (2) 懇親会、祝賀会等
 - (3) 新入生の勧誘活動（ビラ配り等の接触する行為）

担当 学務部学生支援課課外活動支援係 東・糸永
TEL : 092-802-5966、5967
E-mail:gaggakusei@jimu.kyushu-u.ac.jp

令和4年1月24日

緊急事態措置区域及び重点措置区域下における課外活動について

緊急事態措置区域及び重点措置区域下においては、感染拡大防止の観点から活動については慎重に判断することとし、仮に活動を行う場合は下記のとおりとする。

1. 「三つの密」「感染リスクが高まる『5つの場面』」および大きな発声を避けるとともに、部活動等に付随する、屋内での着替え、車での移動、部活動等の後の飲食・懇談や学生寮等における共同生活といった場面での感染対策に十分に留意すること。

2. 以下の取組等の実施を遵守すること。

ア. 学外者を含む参加者の全員検査を実施し、活動への参加の可否を部活動等の責任者等が確認すること。

なお、検査が実施できない場合には、継続的な健康観察・行動歴（毎日の体温測定、発熱・咳等の症状の有無、大人数での会食・マスクを外した長時間の会話など感染リスクを高める行動の有無等）を厳格に確認すること。

イ. 学外者を含む参加予定者に体調不良等の症状がある場合には、活動に参加させないよう徹底すること

ウ. 感染者や感染疑い者が発生した場合の連絡体制や、部活動等の活動停止の措置等を事前に定めること

エ. 活動の前後に必ず手指の洗浄や消毒を実施させること

オ. 曜日・時間等を区切るなどして参加人数を制限するなどの工夫を行うこと

カ. 休憩やミーティングなど活動以外の場面ではマスクの着用を徹底すること

キ. 屋内で活動する際には、可能な限り常時換気に努め、困難な場合にはこまめに換気（30分に1回、5分程度、2方向の窓を全開にする）など十分な換気を徹底すること

令和4年1月18日

当面の課外活動についての留意事項

1. 日々の活動における感染症対策について

- 各団体の感染防止対策を確認し、適切な指導を行うため、**活動計画書を提出**すること。
- 本学および関係団体・連盟等の感染防止ガイドラインを遵守**の上、活動すること。
- 日々の活動記録（日時、場所、活動者、体調等）を作成**すること。
- 活動前の**検温、活動前後の手指洗い・手指消毒、使用用具や手が届く箇所の消毒を徹底**すること。

伊都キャンパスにおける検温器（非接触式電子温度計）貸出場所は下記のとおり。

検温器貸出	総合体育館管理室、課外活動施設Ⅱ管理室
-------	---------------------

注1) **各自、活動前に体温を測定し、参加者名簿に記録の上、活動を行うこと。**

- 伊都キャンパス内課外施設で活動する場合・・・検温器貸出場所の管理人室に提出
- 上記以外で活動する場合・・・ファイル共有システム Proself にて提出（URL は上記様式に記載、ファイル名は、「202010XX（活動日）活動記録・参加者名簿〇〇部」とすること）。

注2) 検温の結果、平熱を超える発熱が確認された場合、各施設の管理人に報告後、速やかに帰宅し、**所属部局へ報告**すること。

- 部室の利用**は、活動に必要な**物品保管のみ**の用途に制限する。原則、**個人での利用**としますので、利用時間を**15分まで**とすること。また、荷物等の取り出しをやむを得ず複数人で行う場合は、なるべく少数で速やかに行うこと。
- 伊都キャンパス課外活動施設の更衣室は、総合体育館、課外活動施設Ⅱの2カ所を開放するが、同時に利用できる人数を制限する。なお、更衣室利用者は、各更衣室前に最大利用人数分のスリッパを準備しているため、必ずスリッパを履いて入室すること。（利用人数等の詳細は下表のとおり）

更衣室・シャワー室の利用人数				
	更衣室(男)	更衣室(女)	シャワー室(男)	シャワー室(女)
総合体育館	6名まで	4名まで	3名まで (脱衣所は1名のみ)	3名まで (脱衣所は1名のみ)
課外活動施設Ⅱ	3名まで	4名まで (洗面台前1名を含む)	3名まで (脱衣所は1名のみ)	3名まで (脱衣所は1名のみ)

- 関係団体・連盟等のガイドラインにおいて容認されている場合を除き、マスク着用を徹底することとし、近接距離での会話や大声を発する行為は避けること。
- こま目な水分補給や日陰での休憩を心がけ、熱中症に注意すること。

- 他人とのタオル、コップ等の共用や飲料水の回し飲みは控えること。
- 新型コロナウイルスの感染に不安を感じている者には、練習の強要はしないこと。
- 移動の際の感染リスクが高いことから、マスクの着用や現地集合・現地解散をするなど各団体で対策を徹底すること。また、相乗りした車で移動する際は窓を開けること。
- 感染拡大防止を目的として開発された新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の登録・活用を部員全員必須とすること。
- 万が一、感染または感染の恐れが生じた場合には、直ちに所属部局及び団体代表者に連絡すること（別添参照）。この場合は、当該団体だけではなく、他団体の活動も一旦停止した上で、その後の対応を検討するが、感染の拡大状況により再開が遅れることも考えられる。**

2. 学外者（他大学学生、OB等）を含む活動について

事故・怪我等の安全性のリスクや本来の活動自体が出来ない場合等が発生していることから、学外者（他大学学生、OB等）を含む活動については、下記事項を遵守の上、許可する。

（確認事項）

- ・本学学生部員と同様に団体で策定した感染防止対策を遵守すること。
- ・所属大学等において他大学における活動が禁止されていない者であること。
- ・ミーティングはオンラインを原則とすること。
- ・活動日の参加者名簿を作成し、参加者全員への連絡体制を確立すること。

3. 演奏会等のイベントについて

有観客公演等の実施を希望する場合は、実施計画を学務部学生支援課に提出し、下記事項及び感染防止対策が確認できた場合は許可する。

（確認事項）

- ・福岡県における催物の開催制限等を遵守すること。
- ・会場の管理運営者が策定した感染防止対策を遵守すること。
- ・関連協会等の演奏会実施に係る感染防止対策ガイドラインに準拠した対策を策定すること。
- ・来場者を含め全ての参加者の情報（氏名・連絡先）を把握すること。
- ・本学の感染状況により、実施直前の中止決定の可能性も想定した上で計画すること。

令和 年 月 日 () 活動記録・参加者名簿

- 団体名[]
○当日の責任者:連絡先[]
○活動場所[]
○活動内容[]

	学部	学年	学籍番号	氏名	測定体温
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

<提出先> 学内：検温器貸出場所（総合体育館または課外活動施設Ⅱ）の管理人室
学外：提出用 URL (<http://u0u1.net/Sulh>) へアップロード

健康観察表

【別紙2】

氏名： _____

学籍番号： _____

所属： _____

職名： _____

内線番号： _____

* 1日1回（朝）は必ず体温を測定し、症状の有無を記載してください。 できる限り夜についても健康観察してください。

第1週

	日数	1	2	3	4	5	6	7
	日付	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()
	メモ							
	担当係等への報告							
朝	体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
	咳							
	息切れ							
	痰							
	喉の痛み							
	鼻水							
	筋肉痛							
	頭痛							
	下痢・嘔吐							
夜	体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
	咳							
	息切れ							
	痰							
	喉の痛み							
	鼻水							
	筋肉痛							
	頭痛							
	下痢・嘔吐							

※ 2週目以降の記録を取る場合は、日数を適宜変更して使用してください。 例) 2週目の場合、8・・・14、3週目の場合、15・・・21